



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

ネパール大地震後、小学校・中学校に文房具寄贈！

2015年4月25日12時頃（現地時間）、ネパール中西部で発生したマグニチュード7.8の大地震は、ネパール及びその周辺国に甚大な被害をもたらしました。

2015年5月12日（火）、開倫ユネスコ協会は、足利市研修センターで『ネパール大地震 激励会』を開催しました。激励会では開倫塾本部校勤務の、ラムサル・ピカスさんから「ネパール留学生からの訴え」をお聞きしました。また同校勤務の、パンデー・サパナさんに、大地震直後のネパールの様子を、写真と共に報告していただきました。

2016年4月12日（火）、ネパール大地震で被害を受けた地域の小学校や中学校へ贈る文房具などが集められ、パンデー・サパナさんに手渡されました。

2016年4月29日（金）、ネパールに戻ったパンデー・サパナさんご家族の方々が、小学校や中学校を訪問して、開倫ユネスコ協会の声かけで集められた文房具などを生徒さんひとりひとりに手渡されました。その時の様子を写真に撮っていただきましたので、ご報告申し上げます。パンデー・サパナさんのお話では、まだまだ学校の壁や天井などの修復はあまり進んでいないとのことでした。未だに建物が壊れたままのところもあります。ネパール大地震直後は、学校がなくなってしまった生徒さんたちは、外で勉強をしていた時期があり、数ヶ月続いたとのこと、皆さん辛い時期を経験されました。一日も早く復興されることをお祈り申し上げます。



寄贈された文房具



中学生の皆さんに文房具を手渡しました。



小学生の皆さんに文房具を手渡しました。



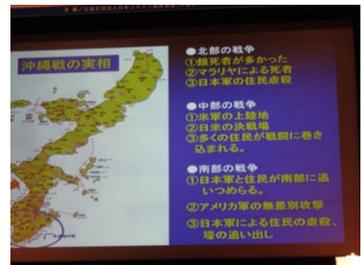
奥の建物が小学生の勉強する学校

第72回日本ユネスコ運動全国大会in沖縄

—持続可能な平和のとりでを築こう—

2016年6月25日～26日、沖縄コンベンションセンターにおいて、第72回日本ユネスコ運動全国大会が開かれました。大会テーマは、「持続可能な平和のとりでを築こう～命（ぬち） どう宝（たから）～」でした。

沖縄は亜熱帯の気候に位置し、恵まれた独特の自然だけでなく、その歴史により固有の素晴らしい文化を育んできました。ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」という崇高な理念に立ち返って、この沖縄の地で「平和」の尊さを再確認し、今後のことについて力強く話し合いたいと考えます。



開会セレモニー

書きそんじハガキを回収しています！

☆書きそんじハガキって？

宛先を書きまちがえたり、古くて使えないなどの理由で、投函されていない未使用の切手つき郵便ハガキのことです（宛先不明で戻ってきたハガキは対象ではありません）。

☆書きそんじハガキプロジェクトって？

日本ユネスコ協会連盟が行っている教育支援で、書きそんじハガキを回収して募金化し、アジアの発展途上国を中心に、戦争や貧困など、様々な理由で教育の機会に恵まれない子どもや大人のために、「学びの場=寺子屋」を提供する活動です。これまで寺子屋で学んだ人は約129万人にのぼります。

開倫ユネスコ協会ではこの活動に賛同し、書きそんじハガキを回収しています。

世界に学びのチャンス！

